

# Well-beingアンケート\_Vol.4 集計結果

2024/01/19



伊藤超短波株式会社

CHO室

# 回答集計

\*資料の百分率は全て小数点第三位を四捨五入して記載しています

## 【実施日】

- 2023年10月02日～20日  
※前回集計：2023年04月24日

## 【回答率】

- 対象者：310名
- 回答数：302名
- 回答率：97.42%

## 【人数構成(回答者)】

- 男性：207名 68.54%
- 女性：095名 31.46%

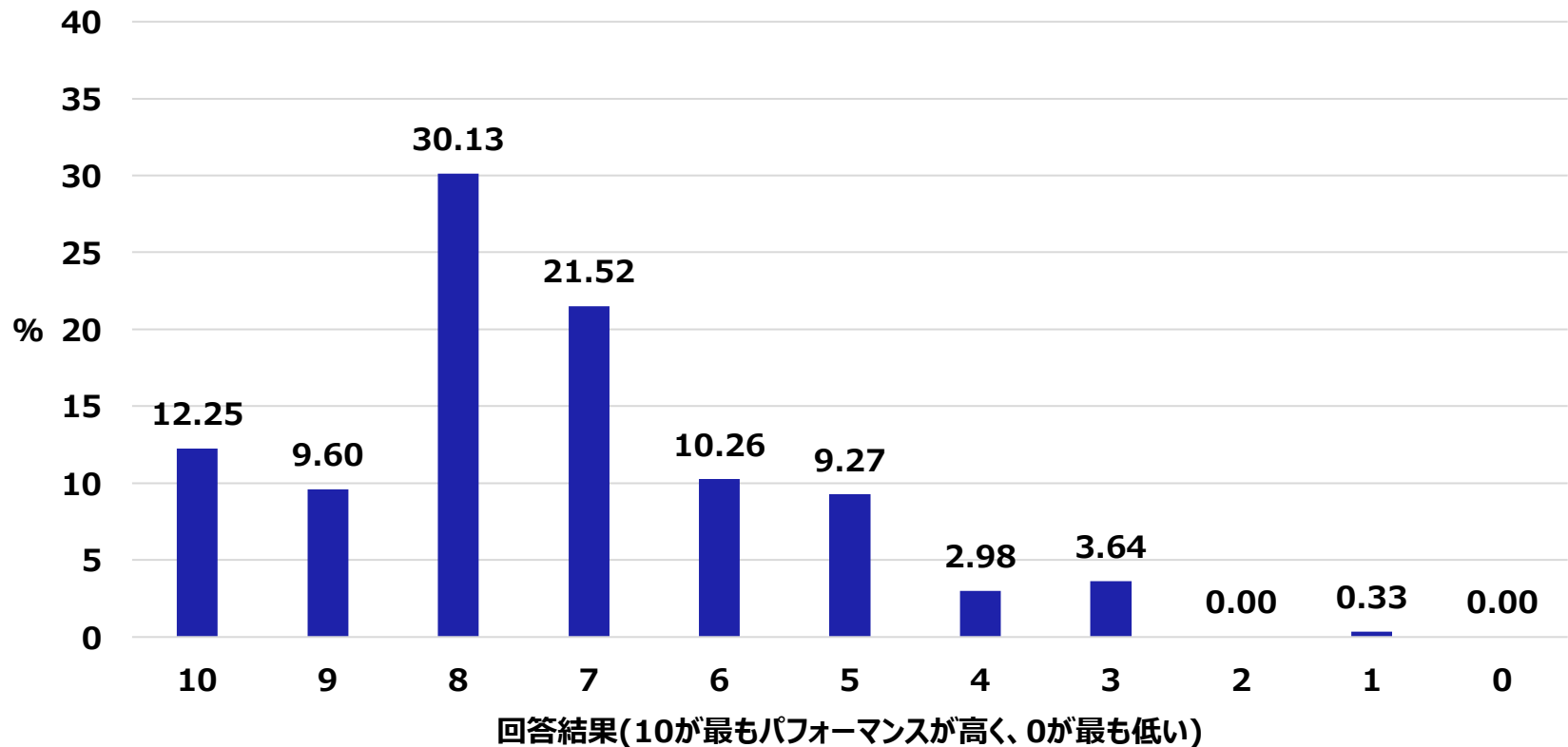
## 【年齢構成(回答者)】

- 年齢：20代\_52名 (内、男性：38名 女性：14名)
- 30代\_77名 (内、男性：54名 女性：23名)
- 40代\_92名 (内、男性：59名 女性：33名)
- 50代\_68名 (内、男性：44名 女性：24名)
- 60代\_13名 (内、男性：12名 女性：01名)

# プレゼンティーイズム①

- プレゼンティーイズムは企業の生産性を測る指標の1つです  
「何らかの疾病や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態」を指します
- 【計測方法】東大1項目版
- 【設問内容】病気や怪我、精神的不調がない時に発揮出来る仕事の出来を「10」として、過去半年間の自身の仕事を評価して下さい(0～10の11段階)
- 【結果】下記グラフを参照

プレゼンティーイズム分布



# プレゼンティーイズム②

## 【プレゼンティーイズムの算出方法】

計算式：**実数値** ÷ **最大理論値**

✓ **実数値**

前頁のグラフを基に、「回答数値×人数」を算出し、全ての値を合計した数値を実数値とする

✓ **最大理論値**

回答者全員が「10」と回答した場合の数値を最大理論値とする

東大1項目版	今回集計	差異	前回集計
プレゼンティーイズムスコア	73.18%	(-0.64%)	73.82%

✓ **スコアの最大値と損失**

最大は100%とし、100%から算出されたスコアを引いた数字を損失とする

現在の損失は**26.82%**

✓ **損失額を出す場合(あくまで目安として)**

計算式：**従業員の平均月給** × **アンケート回答人数** × **対象期間** × **損失**

# アブセンティーイズム

- アブセンティーイズムは企業の生産性を測る指標の1つです  
「従業員が会社を病欠・病気休業している状態」を指します
- 【計測方法】東大1項目版
- 【設問内容】過去半年間、あなた自身の病気や怪我、精神的不調で何日休みましたか？
- 【結果】**620.5日**

東大1項目版	今回集計	差異	前回集計
総欠勤日数	620.5日	(+42日)	578.5日

## 【アブセンティーイズム損失額の算出方法】

計算式：**(従業員平均月給額×対象期間) ÷ 対象期間稼働日 × 総欠勤日数**

# ワーク・エンゲージメント①

- ワーク・エンゲージメントは仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として
  - ★活力：「仕事から活力を得ていきいきとしている」
  - ★熱意：「仕事に誇りとやりがいを感じている」
  - ★没頭：「仕事に熱心に取り組んでいる」の3つが揃った状態を指し、労働者にとって「働きがい」のある状態と定義されます
- **【計測方法】** UWES (Utrecht Work Engagement Scale) 尺度 9 項目版
- **【設問内容】** 下記の 9 つの設問に対し 0 ～ 6 の数値で回答

- ①**活力 1**：仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
- ②**活力 2**：職場では、元気が出て精力的になるように感じる
- ③**熱意 1**：仕事に熱心である
- ④**熱意 2**：仕事は私に活力を与えてくれる
- ⑤**活力 3**：朝に目が覚めると「さあ仕事へ行こう」という気持ちになる
- ⑥**没頭 1**：仕事に没頭している時、幸せだと感じる
- ⑦**熱意 3**：自分の仕事に誇りを感じる
- ⑧**没頭 2**：私は仕事にのめり込んでいる
- ⑨**没頭 3**：仕事をしていると、つい夢中になってしまう

《選択肢》

- 「6：いつも感じる(毎日)」
- 「5：とてもよく感じる(1週間に数回)」
- 「4：よく感じる(1週間に1回)」
- 「3：時々感じる(1ヶ月に数回)」
- 「2：滅多に感じない(1ヶ月に1回以下)」
- 「1：ほとんど感じない(1年に数回以下)」
- 「0：全くない」

- **【結果】** 次頁を参照

# ワーク・エンゲージメント②

## 【ワーク・エンゲージメントの算出方法】

計算式：**合計値** ÷ **回答数**

✓ **活力・熱意・没頭**

各項目は3つの設問で構成されている  
それぞれの回答数値の合計の平均値を算出

✓ **総合**

活力・熱意・没頭の合計値の合計を回答数の合計で割って算出

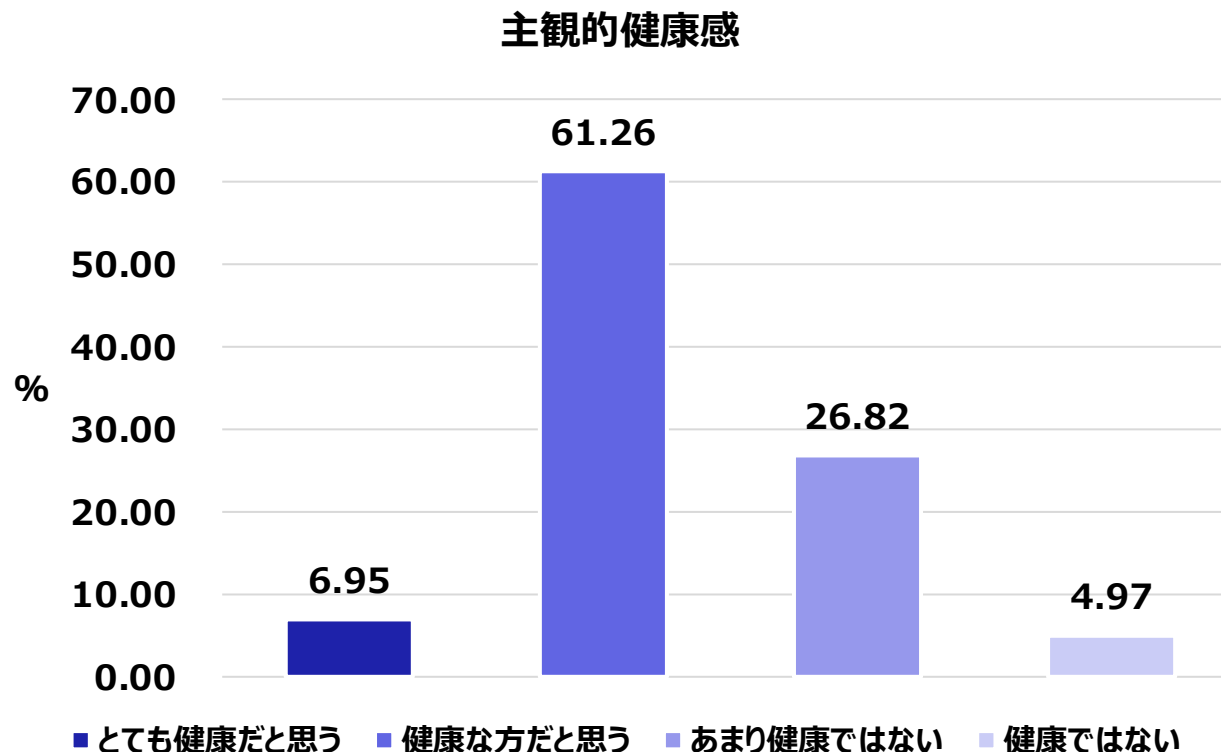
UWES尺度(9項目)	今回集計	差異	前回集計
活力	3.02	(-0.11)	3.13
熱意	3.56	(-0.06)	3.62
没頭	3.22	(-0.11)	3.33
総合	3.27	(-0.09)	3.36

✓ **スコアの最大値**

6が最大で0が最小とする

# 主観的健康感

- 主観的健康感は医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標であり、死亡率や有病率等の客観的指標では表せない全体的な健康状態を捉える健康指標です
- 【計測方法】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】あなたは普段、健康だと感じていますか？  
上記設問に対し「とても健康だと思う」「健康な方だと思う」「あまり健康ではない」「健康ではない」の4つの選択肢から1つを回答
- 【結果】下記グラフを参照

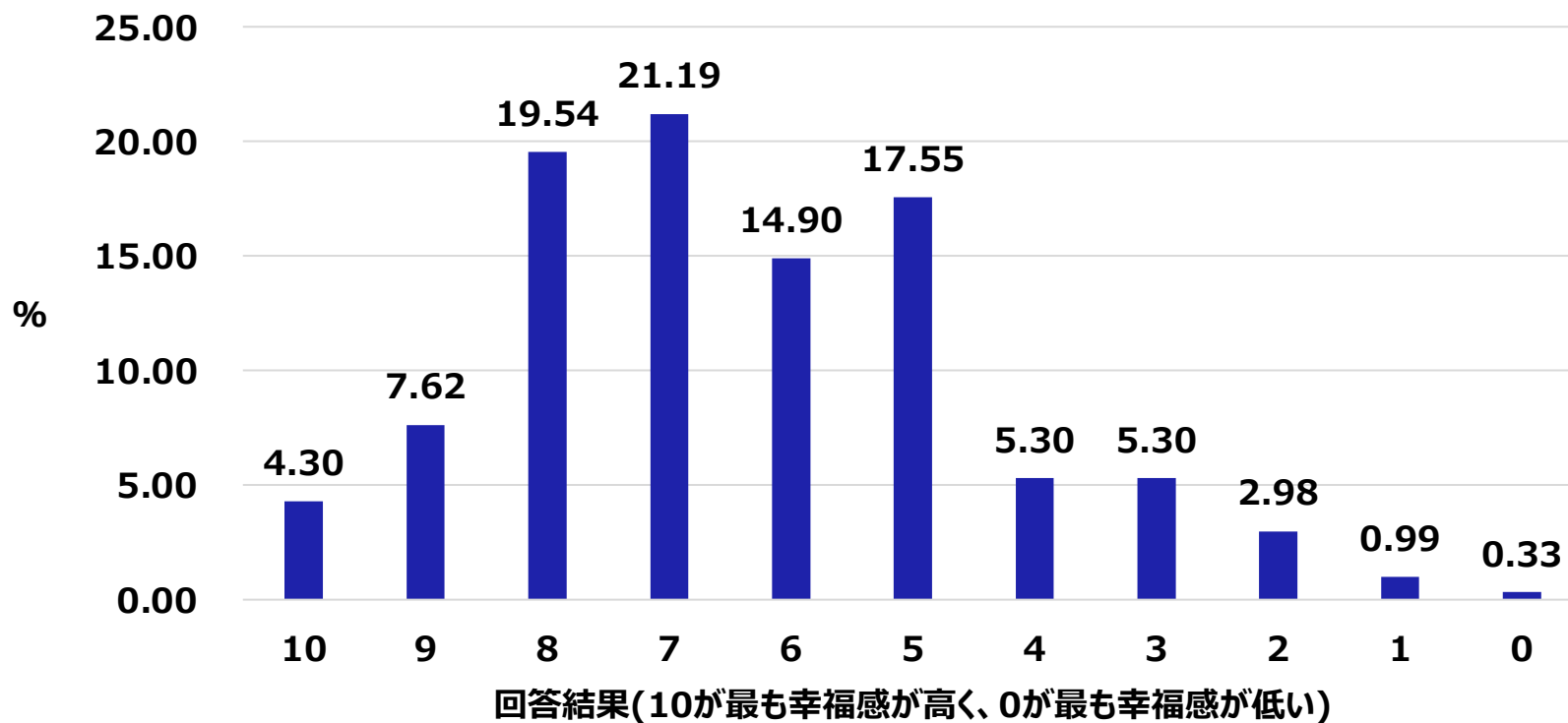




# 主観的幸福感

- 主観的健康感とは感情状態を含み、家族や仕事など特定の領域に対する満足や人生全般に対する満足を含む広範な概念です
- 【計測方式】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか？(0～10の11段階評価)
- 【結果】下記グラフを参照

主観的幸福感



# 主観的健康感と幸福感

## 【主観的健康感】

主観的健康感	今回集計	差異	前回集計
とても健康だと思う	6.95%	(-1.12%)	8.07%
健康な方だと思う	61.26%	(+2.67%)	58.59%
あまり健康ではない	26.82%	(-2.3%)	29.12%
健康ではない	4.97%	(+0.76%)	4.21%

## 【主観的幸福感】

主観的幸福感	今回集計	差異	前回集計
平均値	6.37	(-0.03%)	6.40%

# 相関関係①

プレゼンティーズムを基準に、その他の指標を計測した表

プレゼンティーズム	ワーク・エンゲージメント	主観的健康観				主観的幸福感	ヘルスリテラシー
		とても健康	まあ健康	あまり健康でない	健康でない		
10	3.60	27.03%	56.76%	16.22%	0.00%	7.24	18.95
		83.78%		16.22%			
<b>9</b>	<b>4.06</b>	13.79%	75.86%	10.34%	0.00%	<b>7.83</b>	<b>19.59</b>
		<b>89.66%</b>		10.34%			
8	3.42	4.40%	74.73%	19.78%	1.10%	6.73	18.98
		79.12%		20.88%			
7	3.07	4.62%	63.08%	29.23%	3.08%	6.43	19.18
		67.69%		32.31%			
6	3.30	0.00%	54.84%	38.71%	6.45%	5.84	19.29
		54.84%		45.16%			
5	2.61	0.00%	35.71%	50.00%	14.29%	5.25	18.71
		35.71%		64.29%			
4	2.38	0.00%	44.44%	33.33%	22.22%	4.22	18.89
		44.44%		55.56%			
3	2.56	0.00%	18.18%	54.55%	27.27%	3.09	18.64
		18.18%		81.82%			
2	-	-	-	-	-	-	-
1	0.67	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00	15.00
		0.00%		100.00%			
0	-	-	-	-	-	-	-

## 相関関係②

主観的健康観を基準に、その他の指標を計測した表

主観的健康観	プレゼンティーズム	ワーク・エンゲージメント	主観的幸福感	ヘルスリテラシー
とても健康だと思う	9.00	4.14	8.38	20.43
まあ健康だと思う	7.64	3.33	6.76	19.15
あまり健康ではない	6.62	3.05	5.43	18.53
健康ではない	4.80	2.42	3.87	18.80

- プレゼンティーズムの高さに比例し、他の指標も高まる傾向  
⇒前表ではプレゼンティーズムを「9」と付けた従業員の指標が最も高い傾向  
※「10」ではなく「9」が最も高い理由は国民性も可能性
- 主観的健康観の高さに比例し、他の指標も同じく高まる傾向  
⇒前表では主観的健康観で「とても健康だと思う」と回答した従業員の指標が最も高い傾向

# ヘルスリテラシー①

- ヘルスリテラシーとは健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、得、理解し、効果的に利用する個人的能力の程度を意味します
- **【計測方式】** CCHL(Communicative and Critical Health Literacy)尺度
- **【設問内容】**あなたは、もし必要になったら、病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり使用したりすることが出来ると思いますか？下記の5つの設問に対し1～5の数値で回答

- ①**情報収集力**：新聞・本・テレビ・インターネットなど、色々な情報源から情報を集められる
- ②**情報選択力**：たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる
- ③**情報判断力**：情報がどの程度信頼出来るかを判断出来る
- ④**情報伝達力**：情報を理解し、人に伝えることが出来る
- ⑤**自己決定力**：情報をもとに健康改善の為の計画や行動を決めることが出来る

《選択肢》

- 「5：とてもそう思う」
- 「4：まあそう思う」
- 「3：どちらでもない」
- 「2：あまりそう思わない」
- 「1：全くそう思わない」

- **【結果】**次頁を参照

# ヘルスリテラシー②

## 【ヘルスリテラシーの算出方法】

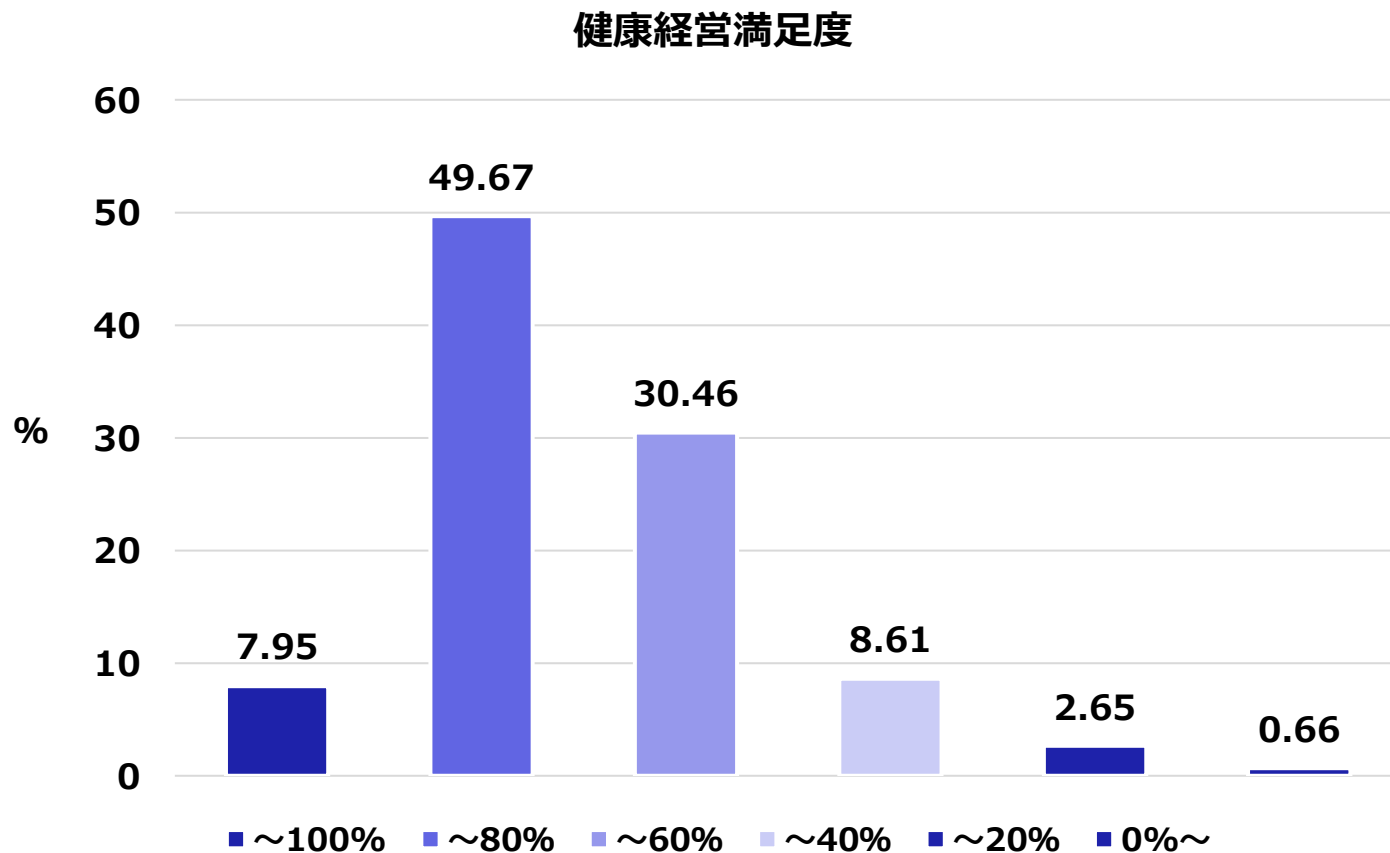
計算式：**合計値** ÷ **回答数**

- ✓ 「情報収集力」「情報選択力」「情報判断力」「情報伝達力」「自己決定力」  
それぞれの回答数値の合計の平均値を算出
- ✓ **ヘルスリテラシーのスコア**  
5項目の平均値を合計した数値をヘルスリテラシースコアとして算出  
最大値：25 最小値：5

CCHL尺度(5項目)	今回集計	差異	前回集計
情報収集力	4.14	(-0.01)	4.15
情報選択力	3.93	(+0.05)	3.88
情報判断力	3.68	(+0.06)	3.62
情報伝達力	3.68	(-0.04)	3.72
自己決定力	3.62	(+0.04)	3.58
ヘルスリテラシースコア	19.06	(+0.11)	18.95

# 健康経営満足度①

- 健康経営の取り組みに対する従業員の総合的な満足度を聞いています
- 【計測方法】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】現在の健康経営の満足度を教えてください。
- 【結果】下記グラフを参照



# 健康経営満足度②

【健康経営満足度】

健康経営満足度	今回集計	差異	前回集計
～100%	7.95%	(±…%)	…%
～80%	49.67%	(±…%)	…%
～60%	30.46%	(±…%)	…%
～40%	8.61%	(±…%)	…%
～20%	2.65%	(±…%)	…%
0%～	0.66%	(±…%)	…%



# 運動状況

## 【運動習慣の調査結果】

下記の設問に対し実施している項目を複数選択

運動状況	今回集計	差異	前回集計
全く運動は出来ていない	24.17%	(±…%)	…%
1回30分以上の汗をかく運動(歩行以外)を週2日以上、1年以上実施	10.26%	(±…%)	…%
日常生活において歩行または同等の身体活動を1時間以上実施	12.25%	(±…%)	…%
同年代の同性と比較して歩く速度が速い	17.88%	(±…%)	…%
上記に当てはまらないが運動は実施している	13.91%	(±…%)	…%
上記項目を2項目以上選択している方	21.52%	(±…%)	…%

## 【参考】

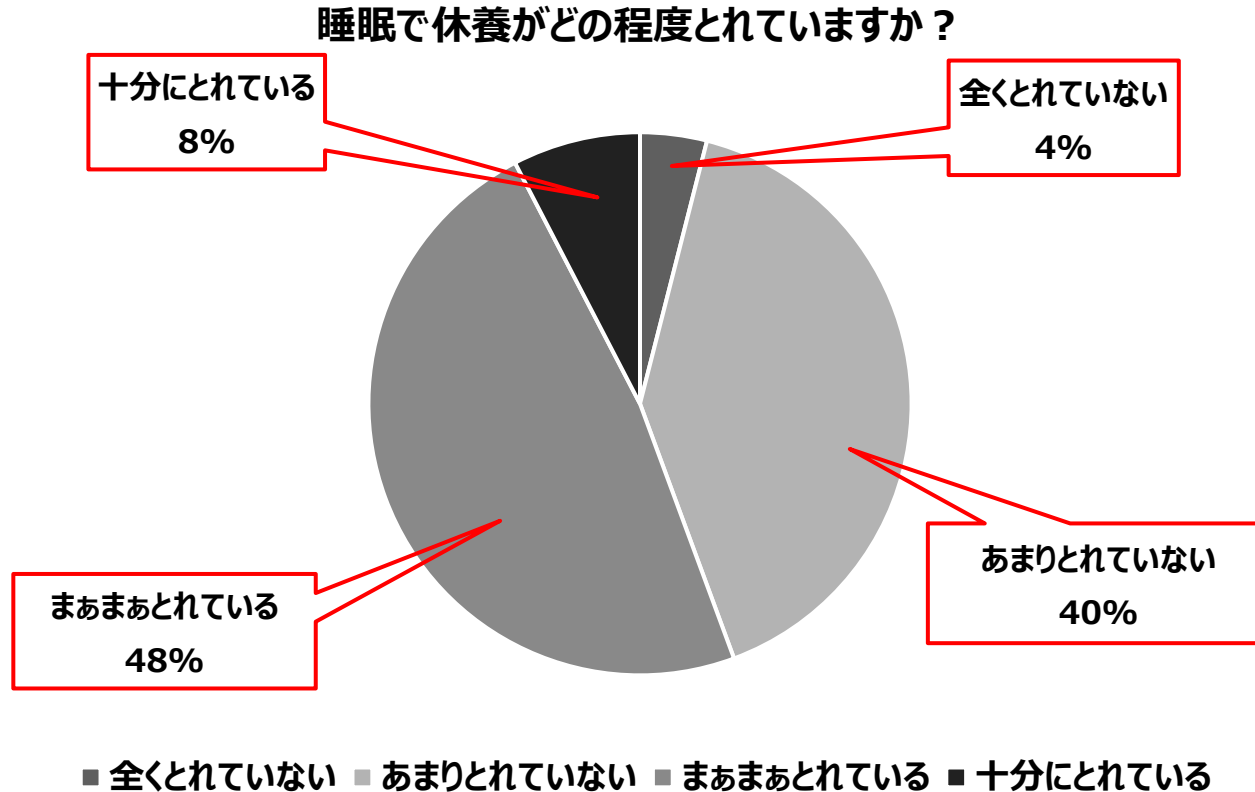
「全く運動は出来ていない」と回答した方のうち、睡眠で休養が

- 「全くとれていない」：7.09%
- 「あまりとれていない」：40.16%

上記の方は日常生活に運動を取り入れることで睡眠改善に繋がる可能性がある

# 睡眠状況

## 【睡眠の質】

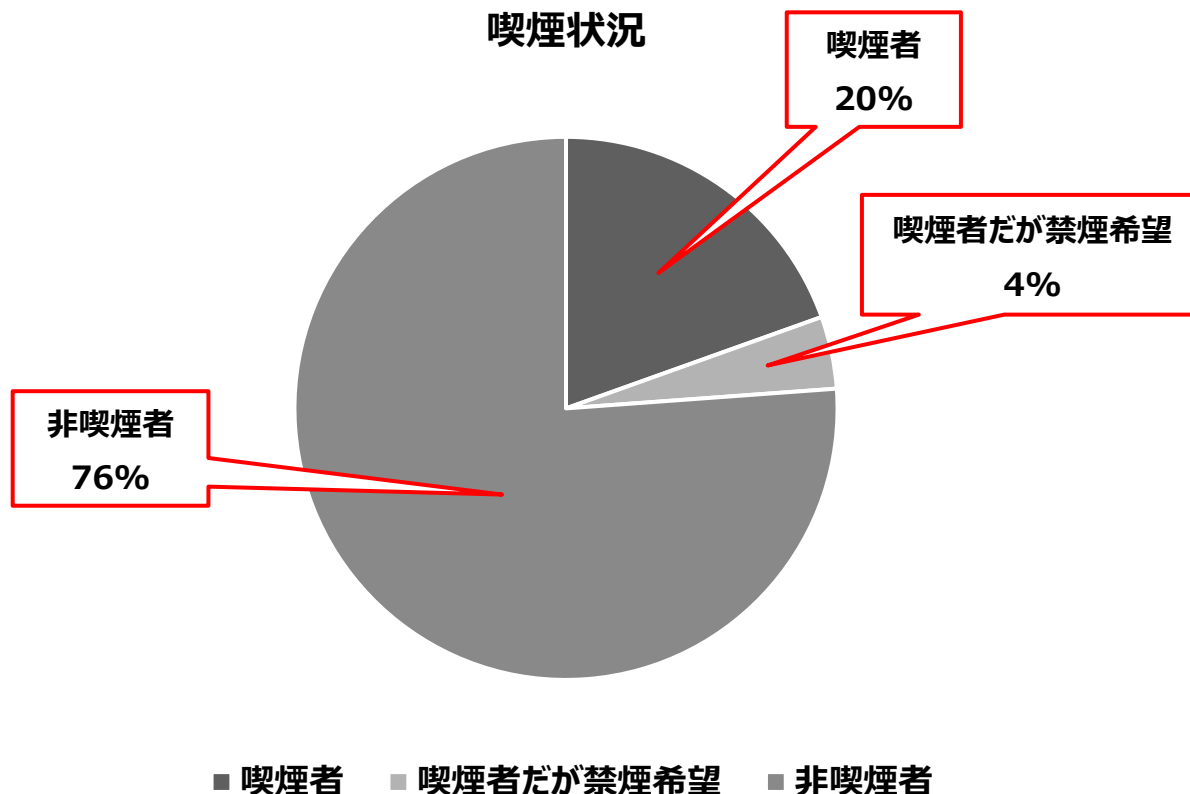


## 【参考】

睡眠で休養が「全くとれていない」「あまりとれていない」と回答した方のうち、  
なんらかの運動をしていると回答したのは55.22%

# 喫煙状況

【喫煙率】



✓ **参考データ①**

前回集計値：24.3%（差異：-0.3%）

✓ **参考データ②**

全国喫煙率：16.7%（厚生労働省 2019年）